



◆◆◆9月9日は救急の日◆◆◆

🚒 「救急の日」「救急医療週間」とは

「救急の日」は救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚をはかることを目的に昭和57年に定められました。以来、毎年9月9日を救急の日とし、この日を含む一週間(今年は9月4日㊤から9月10日㊤)を「救急医療週間」としています。

🚒 週間中の啓発活動

9月9日㊤9時から11時の間、エバグリーン湯浅店出入り口付近において、啓発活動(トートバックやティッシュ等の配布)を行います。
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となる場合があります。中止の連絡は湯浅広川消防組合消防本部ホームページにてお知らせいたします。

🚑 救急車の利用について

「救急車を呼ぶべきか」「自家用車で行くべきか」判断に迷った時や、自家用車で行くことが出来るがこの病院へ行って良いか分からない時は、次のところで情報提供しています。

◆和歌山県救急医療情報センター
[24時間対応] ☎073-426-1199

◆子ども救急相談ダイヤル
[休日夜間の子どもの急病相談]
平日▶19時～翌朝9時
土日祝、年末年始(12月29日～1月3日)
▶9時～翌朝9時
☎073-431-8000(#8000)

◆◆◆地震から学ぶ 9月1日は防災の日◆◆◆

大正12年9月1日は、関東大震災が発生した日です。この地震により、関東地方を中心に人的、物的にも甚大な被害が発生しました。その後、毎年9月1日が「防災の日」と定められました。また広く国民に地震や台風などの災害に対する防災意識を高めてもらうため、今年度は8月30日から9月5日までが「防災週間」となっています。

みなさん「釜石の奇跡」をご存じでしょうか。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの尊い命が奪われ、甚大な被害があったにも関わらず、岩手県釜石市の3千人近い小中学生のほぼ全員が避難し奇跡的に助かったというお話です。ではなぜ助かったのか。それは、「3つの原則」を守ったからだと言われています。

- 1. 想定にとらわれないこと**
ハザードマップを信じて安心しないこと。自然は時に想定外の災害をもたらします。
- 2. 最善を尽くすこと**
津波は小学校や中学校の屋上まで達したと言われています。ここまで逃げれば考えるのではなく、逃げられるところまで全力で逃げ続けることが必要です。
- 3. 率先避難者になること**
率先避難者になることで、周囲もそれに同調して避難するようになります。釜石市の中学生が率先避難者として避難を開始したことで、避難をためらっていた周囲の住民も避難したと言われています。

近い将来、南海トラフ地震が起こると予想されています。過去の地震から学び、未来の地震に対応する力を身につけましょう。



出産・子育てのお悩み 一緒に考えます

「産後の心身の不調がある」「育児不安等がある」「家族等から産後の援助が得られない」等の不安や悩みを抱えるお母さんと赤ちゃんが対象の事業で、助産師の助言指導を受けることができます。

一産後ケア事業

「産後の心身の不調がある」「育児不安等がある」「家族等から産後の援助が得られない」等の不安や悩みを抱えるお母さんと赤ちゃんが対象の事業で、助産師の助言指導を受けることができます。

サービス内容

訪問型サービス

家庭訪問により、お母さんと赤ちゃんのケアや育児の助言指導を受けることができます。

乳房ケア

産院や助産院へ通い、乳房マッサージ等のケアや授乳の仕方についての助言指導を受けることができます。

宿泊型サービス

産院や助産院へ宿泊し、お母さんと赤ちゃんのケアや育児の助言指導を受けるとともに日頃の育児疲れを回復することができます。

日帰り型サービス

産院や助産院へ通い、お母さんと赤ちゃんのケアや育児の助言指導を受けるとともにゆったり過ごすことができます。

*利用料は、種別、時間、世帯により利用者負担額が異なります。
サービスの利用を希望される方は、利用できる産院や助産院、利用の仕方、料金を保健師に相談のうえ、お申込みください。

一 子どもの健康相談

他のお友達と遊びたい、子どもの体重の増え方が気になる、離乳食の進め方がわからない等、どんな理由でも大丈夫です。お気軽にお越しください。

相談日時

毎月第1・3水曜日
9時～12時

場所

湯浅町役場保健センター

一 m a m a ♡ は ♡

(妊婦相談&交流)
相談だけでなく、妊婦さん同士で交流・情報交換してみませんか?
また、子どもの健康相談と同時間開催予定なので先輩ママさんとの交流の場にもなります。

*日程は、開催月の広報のお知らせにてお知らせします。

一 f a m i l y ♡ は ♡

(妊婦と家族の相談&交流)
妊婦さんだけでなく、パートナーさん・ご家族にもお越しいただけます。妊娠生活やこれからの育児について一緒に考えてみませんか?また、妊婦さん同士の交流の場にもなります。

*日程は、開催月の広報のお知らせにてお知らせします。

*開催日の1週間前までに電話でお申込みください。

